

サーモレコーダー

RT/RS16 シリーズ はじめにお読みください

対象製品 RT16, RS16, RS16H

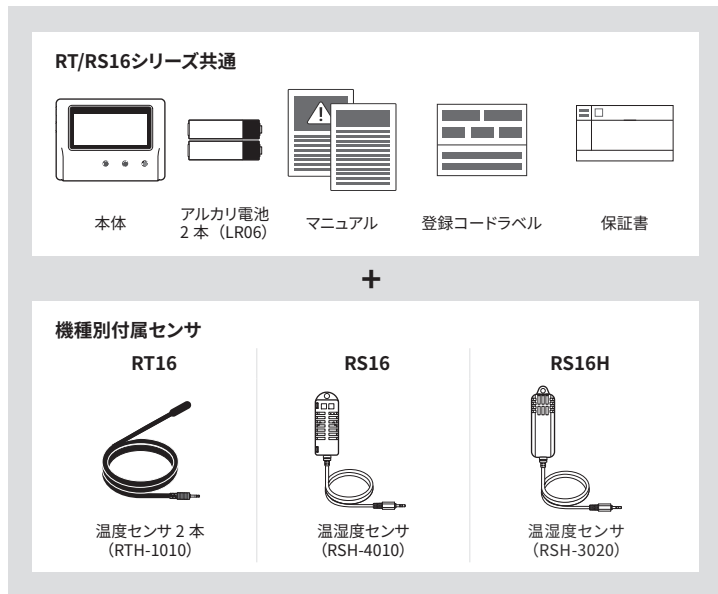
概要はこちら (TR7 シリーズ機能と仕様 PDF)
<https://www.tandd.co.jp/product/spec/outline-spec-tr7-jpn.pdf>



この度は、当社の製品をお買い上げいただき、ありがとうございます。

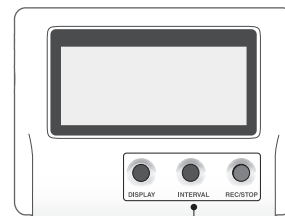
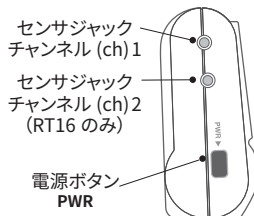
パッケージ内容の確認

ご使用前にパッケージ内容が揃っているかご確認ください。

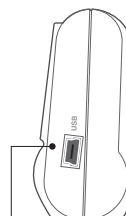


各部の名称

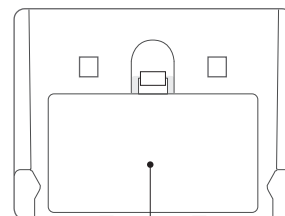
RT16
RS16 / RS16H



操作ボタン
DISPLAY・INTERVAL・REC/STOP



USBコネクタ
(Mini-B)



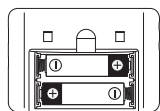
電池フタ

※本体ボタン操作で可能な設定については裏面をご覧ください

機器の準備

電池セット

電池の向き
2本とも新しい電池をセットしてください (交換時も)



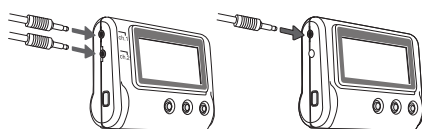
電源を入れた直後の画面

電源を入れた直後は機器のファームウェアバージョンを2秒間表示します。

センサ接続

RT16

RS16 / RS16H



RT16の内蔵センサ

ch1には温度センサが内蔵されており、外付けセンサを接続しない場合は内蔵センサで測定します。

機器の準備が整ったら

スマート端末またはパソコンに専用のアプリをインストールし、設定を行ってください。

スマート端末用アプリ「T&D Thermo」
<https://www.tandd.co.jp/software/td-thermo.html>



パソコン用ソフトウェア「RT_RS for Windows」
<https://www.monitoring.especmic.co.jp/support/>



設定する内容や手順は以下のURLよりご確認ください。

TR7 シリーズマニュアルサイト
<https://manual.tandd.co.jp/tr7/index.html>



RT/RS16 取扱説明書
<https://www.monitoring.especmic.co.jp/support/>



※ 型番対応表

ESPEC 製品型番	T&D 対応製品型番
RT16	TR71A2
RS16	TR72A2
RS16H	TR72A2-S

本体ボタン操作

液晶表示マークの名称については、「TR7 シリーズマニュアルサイト」「RT/RS16 取扱説明書」に掲載しています。表面記載の URL よりご確認ください。

電源 ON / OFF

[PWR]ボタン長押し*1*2

記録開始*3

[REC / STOP]ボタン長押し*1

「DATAマーク」点滅後、「RECマーク」点灯で記録開始

記録停止*3

[REC / STOP]ボタン長押し*1

「RECマーク」点滅後、「RECマーク」消灯で記録停止

記録間隔と自動送信間隔の設定値を液晶画面に表示する

[INTERVAL]ボタンを押すごとに「Rec.マーク」（記録間隔）と「Uploadマーク」（自動送信間隔）を交互に表示

記録間隔の設定変更

記録中は設定変更ができないので、記録停止中に操作を行う必要がある*3

[INTERVAL]ボタンを1回押し、「Rec.マーク」表示中に[INTERVAL]ボタン長押し*1

「Rec.マーク」点滅後、設定値点滅。設定値点滅中に[INTERVAL]ボタンを数回押しして記録間隔を変更

設定したい数値に合わせてしばらく放置すると設定が完了

自動送信間隔の設定変更

[INTERVAL]ボタンを2回押し、「Uploadマーク」表示中に[INTERVAL]ボタン長押し*1

「Uploadマーク」点滅後、設定値点滅。設定値点滅中に[INTERVAL]ボタンを数回押しして記録間隔を変更

設定したい数値に合わせてしばらく放置すると設定が完了

データ送信先サーバへの記録データ・設定内容の送信

手動で即時にサーバへデータを送信したい場合に使用

[REC / STOP]ボタンを押す。「無線LANマーク」と「COMマーク」が点滅し、サーバと通信

通信キャンセル

[PWR]ボタンを押す

測定値表示方法の変更

[DISPLAY]ボタンを押すごとに以下のように表示を切り替えます

①Ch1 / Ch2 現在値 → ②Ch1最大値 / 最小値 → ③Ch2最大値 / 最小値 →①～③の巡回表示

最大値 / 最小値のクリア・「ALMマーク」の消灯

測定値表示方法で②Ch1最大値 / 最小値か③Ch2最大値 / 最小値を表示中に[DISPLAY]ボタン長押し*1

最大値 / 最小値点滅後、最大値 / 最小値がクリアされ「ALMマーク」が消灯*6

WPSでの無線LAN接続設定

利用中のアクセスポイントがWPSに対応しており、セキュリティ設定がWPA/WPA2 PSKである必要がある*4*5

[PWR]ボタン+[DISPLAY]ボタン同時に長押し*1

「WPSマーク」点滅後、点灯

「WPSマーク」点灯時に利用中のアクセスポイントをWPS認証モードに設定

接続に成功すると「無線LANマーク」が点灯、失敗時には点滅

*1 長押しとは約 2 秒間ボタンを押し続ける操作のことで。

*2 記録中は電源を OFF にできません。

*3 記録を開始すると本体内の記録データはすべて消失します。記録停止後は必要に応じて記録開始前にデータの吸い上げを行なってください。

*4 利用中のアクセスポイントの仕様や使い方については、販売元メーカーへお問い合わせください。

*5 アクセスポイントの仕様により本体操作で無線 LAN 接続設定ができない場合は、スマート端末用アプリか Windows 用ソフトウェアからの設定をお試しください。

*6 本体ボタン操作では最大値 / 最小値と「ALM マーク」が同時にクリアされます。アプリから操作することで別々にクリアすることも可能です。

電池残量がなくなった時に記録データを守る方法

RT/RS16シリーズは電源を消失してもデータを保護しますが、電池残量警告マークが表示されたら、なるべく早めに新しい電池に交換してください。

1 電池交換の時期になると、電池残量警告マークが表示されます。



点滅：電池残量が少なくなると表示

点灯：電池残量が更に少なくなると表示。自動送信動作を停止し、記録は継続。

【電池交換すると】

- 電池交換前の記録をそのまま継続します。
- 保持されている記録データを吸い上げることができます。

2 電池交換をせずに使用を続けると下図の表示になり、記録を停止します。



【電池交換すると】

- 記録開始操作するまで記録停止のままです。ただし「おんどとり Web Storage」と通信して記録データのアップロードが成功すれば記録を再開します。
- 保持されている記録データを吸い上げることができます。記録データを吸い上げまたはサーバにアップロードする前に記録を開始すると、本体内の記録データは全て消失するのでご注意ください。

3 さらに電池交換をせず放置すると、液晶表示が消え内蔵時計がリセットされます。



【電池交換すると】

- 記録開始操作するまで記録停止のままです。ただし「おんどとり Web Storage」と通信して記録データのアップロードが成功すれば、自動的にサーバと時刻合わせをして記録を再開します。
- 本体内部の時計がリセットされているので、自動送信をOFFにしている場合は、改めて時刻設定が必要です。
- 保持されている記録データを吸い上げることができます。記録データを吸い上げまたはサーバにアップロードする前に記録を開始すると、本体内の記録データは全て消失するのでご注意ください。

本体ボタン操作方法の詳細については Web サイトで公開しています。

<https://manual.tandd.co.jp/tr7/button/index.html>

